

第34号

ボランティアの輪を広げよう

—発行—

糸魚川市ボランティアセンター
糸魚川市ボランティア
連絡協議会
(糸魚川市社会福祉協議会内)
新潟県糸魚川市寺町4-3-1
TEL (025) 552-7700
FAX (025) 553-1657

糸魚川市 ボランティアだより



令和6年度 能登半島地震

ボランティアバスを運行!



力をあわせて被災地を応援



やさしい心に感謝!!



7月6日輪島市-13名参加

災害ボランティアバス

7月6日(土) 石川県輪島市 13名参加

大瀬美乃里

1月2日、輪島市から糸魚川に帰省中だった身内が、残る家族の安否確認の為輪島に帰って行きました。幸い怪我も無く無事でしたが、家財が大きな被害を受けました。すぐにでも手伝いに行くべきなのに、道路状況を見聞きすると自力で現地へ向かう勇気が出ず、何も出来ずにいました。そんな時、



新聞でボランティア募集の記事を発見。初心者は足手まといかなと悩みましたが、微力でもお手伝いがしたいと思い参加しました。

道路は地震の爪痕が未だ残っていましたが、運転手さんのお陰で無事に到着。活動内容は、家財道具の運び出しと落下した瓦の撤去で、私は後者を担当しました。不安でしたが、現地社会福祉協議会の方が、現場までの送迎や作業を一緒にくださりとても心強かったです。ボランティア経験者も多かったので、動きを真似たり、不明な点は積極的に聞いたりしながらお手伝いさせていただきました。依頼者の方から「きれいになった、ありがとう。」と言葉をいただき、こちらも嬉しくなりました。

支援には様々な形があります。被災地に行けなくても、義援金や支援金(被災地で活動する福祉団体などを支援する資金)を送ること、被災地を忘れないことも支援のひとつです。各々が出来る支援を続けることが大切だと感じました。

最後に、前述の身内が今回の活動に対して、「糸魚川の皆様にお礼を。」と大変感謝しておりました。この場をお借りしてお伝えさせていただきます。

福祉講座

7月1日(月) ビーチホールまがたま 53名参加

赤十字奉仕団糸魚川市分団 滝澤文夫

福祉講座「すみよいまちを考える」NPO法人すいみい代表池田七菜さんに会員の皆さんの活動の話をお聞きしました。

「少子高齢化、増えていく空き家、寂しくなった商店街、減りゆく学校、個々の生活様式は多様化、異なる価値観・世代の人達がお互いを理解し合うことの必要性」を感じ、人同士がつながり、育てあえる場所作りを目指し、2020年に10名の人たちと立ち上げ、活動を開始し、まちづくり・社会教育・子どもの健全育成をと、誰でもが交わる空間「cafe hug(カフェハグ)」をメンバーと運営。市内の施設(体育館・公民館)を利用して「もっと!アソビバ!(室内遊び場)」の企画・運営。

さらに、ファミリーサポートセンター・子育て支援(一時預かり、保育園児・小学生の送迎)事業(市の委託事業)、その他にフードバンクいといがわの事業の活動を行っているとのことでした。なお、現在は会員約30名で活動中とのことでした。

私は、これらの活動については聞いてはいましたが、講演を聞き改めて認識し、活動の大変さと素晴らしいことに感動しました。私もこれまでいろいろなボランティア活動をしてきましたが、これらの活動を知り、多くの方に知っていただき、協力して頂けたらと思いました。私なりにできることを協力したいと思います。



災害学習

6月15日(土) ビーチホールまがたま 75名参加

一般社団法人糸魚川青年会議所 橋本保宏

私は(一社)糸魚川青年会議所のメンバーとして災害学習会に参加させていただきました。本学習会では能登半島地震での活動報告・災害非常食の体験・実食がありました。

糸魚川市でも多くの被害を受けた能登半島地震、半年経過した今でも現地では家屋の倒壊・道路の崩落など生活するにも困難な状況ということを理解しました。地震はいつ・どこで・どんな規模で起きるか分かりません。最近では全国各地に多くの断層帯があり糸魚川でも上



越沖断層帯といわれるものがあり大地震を起こす可能性があると言われております。先日も日向灘で大きな地震があり南海トラフ地震の想定震源域内ということで注意を呼び掛けております。そこで改めて日頃からの備えの重要性を感じました。

災害非常食につきましても水やガスなどのライフラインが無くても調理できるキットがあり、作り方も説明が丁寧に記載してあり簡単に調理することが出来ました。今回のような体験を行っておくことで、大規模災害の際、自分自身はもちろん家族や周りの方々へのサポートが出来ればと考えております。

一番は何も起こらないことを願っております。

ぐりーんバスケット解散

(元)ぐりーんバスケット理事長 岡崎忠雄

NPO法人ぐりーんバスケットは昨年12月末で活動を終了し、今年3月末に解散しました。

平成15年4月の設立以来、移送サービスを主に介護・生活支援サービス、市の介護予防事業の受託等を「安心して暮らせる町作り」を活動理念にして「お互いさま」の心でのボランティア活動でした。20年間の活動中、大きな事故も無く、安心・安全なサービスが提供できたことに会員全員が感謝し、安堵しました。



心残りはボランティア提供会員が確保できず、多数の利用希望者の期待に応えられなかった事です。少子高齢化社会で人材不足は避けられない時代、ボランティア活動も新しい考え方や工夫で持続可能なボランティア(互助)活動が必要と痛感します。



NPOぐりーんバスケットは20年間の活動に幕を下ろし、その活動余剰金(317,954円)を、糸魚川市社会福祉協議会へ寄付いたしました。

移送サービスに限らず、ボランティア団体は高齢化や会員不足など、様々な課題を抱えながら笑顔で活動を続けています。これからも持続可能な活動のために、皆様のご理解とご参加をお願いします。

糸魚川市ボランティア連絡協議会団体名簿

糸魚川手話サークル	手話通訳。手話の学習。手話通訳者の育成
いとよ朗読奉仕会	視覚障がい者への市の刊行物等の音声訳サービスまたは個人的に依頼のあったものの朗読
新潟県赤十字安全奉仕団糸魚川市分団	災害発生時の救護奉仕活動、救急法の普及と指導訓練 等
糸魚川地区老人クラブ連合会	世代間交流、伝承活動、環境美化活動、高齢者世帯・一人暮らし高齢者の見守り
糸魚川地区更生保護女性会	女性の立場から犯罪予防活動と更生保護思想の啓発宣伝に努め、明るく住み良い街づくりを目指す
給食ボランティアエプロンの会	糸魚川支部社協の老人給食サービス事業の調理、配食
一友会	年2回の特養施設の外周清掃。 おまんた祭り子供神輿の育成指導 他
明るい社会づくり運動上越ブロック	社会奉仕活動を通じて明るく住み良い社会を作るための地域活動を展開することを目的とする
糸魚川市赤十字奉仕団	災害救護等、赤十字の特色を生かした奉仕活動
糸魚川ライオンズクラブ	福祉施設等でのイベントの手伝い、サンタクロース学校訪問、献血活動 等
糸魚川市民生委員児童委員連絡協議会	訪問活動、住民の相談活動、共同募金の協力、各種福祉活動への協力 等
糸魚川国際交流協会	日本語セミナー、外国人生活相談、外国人の学校生活サポート等の外国人への支援
傾聴ボランティアいとでんわ	話す機会の少ない人や悩みを抱えている人などの話を聞くボランティア
えがおの会	障がい者本人の自主活動の場として、カラオケ・調理実習・旅行・買物・ポーリング等を行っている
能生ライオンズクラブ	交流活動、掃除や作業の手伝い、募金等の活動
能生ボランティア友の会	高齢者福祉施設でのボランティア活動
能生地区老人クラブ連合会	会員相互の親睦及び奉仕活動。生きがい対策事業。会員旅行の紹介。健康増進事業
糸魚川市能生地区赤十字奉仕団	地域福祉活動の推進。赤十字思想の普及。講習会の開催。関係団体との連携・協力
青海たんぼぼの会	施設訪問。小・中学校の家庭科の手伝い等
おもちゃの病院	月1回青海文化会館「きらら」で「おもちゃの病院」を開院し、おもちゃの修理
こしおうみひのきしん会	施設を訪問し、車いすの整備や掃除等を行う活動



お問い合わせは **糸魚川市ボランティアセンター(TEL 552-7700)** へ

編集後記

ぐりーんバスケットの解散について寄稿いただきました。人材不足で利用者の対応が困難になったとのこと。このような事は他の団体でも生じてくるのが予測されます。

このボランティアだより第1号発行時(平成19年)には29団体が登録されていましたが、現在は上記21団体に減ってきております。継続は力なりと申しますが、何とか持ち堪えていきたいものです。 広報部 杉ノ上